

2021年8月11日

各 位

第一工業製薬株式会社

第一工業製薬と兵庫県養父市との包括連携協定の締結について

第一工業製薬株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長兼社長:坂本隆司)と兵庫県養父市(市長:広瀬 栄)は、地域創生に取り組む包括連携協定を締結しました。

「養蚕イノベーション®」を通して、2030年の人類の目標、SDGsに貢献することが目的です。まゆがつなぐ、命と地域の巡り合いを大切にします。

この協定では相互の人的、知的資源の交流や物的資源の活用を図り、豊かな価値の創造に力を注ぎます。次の事項に連携して取り組みます。

- (1) 地域産業の振興
- (2) 桑の栽培を含む養蚕事業
- (3) 認知機能や認知症などの研究
- (4) 機能性食品およびその食材
- (5) 特色ある地域づくり
- (6) 人材育成
- (7) 学術研究
- (8) 福祉の増進
- (9) その他両者が協議して必要と認める事項



2021年8月3日 養父市役所にて
(左) 広瀬市長、(右) 坂本会長兼社長

<参考資料> 「養蚕イノベーション®」と当社の取り組み

第一工業製薬グループである株式会社バイオコクーン研究所は、「養蚕イノベーション®」を提唱しています。協働の可能な地方自治体等と連携して健康長寿社会を実現する取り組みです。桑、シルク、マユ、カイコ、サナギという養蚕資源を活用して、農家による地域創生を目指すことです。同研究所は、培養した純国産のカイコ冬虫夏草を原料とする健康食品を開発し製造しています。

2021年1月28日、養蚕技術を活用して得られたカイコ冬虫夏草から認知機能改善を示唆する新規有用成分「ナトリード®」を発見したことが、国際学術誌「PLOS ONE」に掲載されました。現在、MCI（軽度認知障害）対象のヒト介入試験、認知症患者を対象とした臨床研究を行い、脳機能領域における機能性表示食品届出の準備を進めています。

「養蚕イノベーション®」活動により、日本古来の養蚕技術を伝承します。さらに、桑の木植樹によるCO₂削減、地域雇用の創出、耕作放棄地の有効利用、シニア世代の生きがい作りに着手します。そして、認知症・フレイル予防による医療費削減、昨今注目されている医薬、食品、化粧品などの先端分野への応用へと展開を図ります。

当社は、2020年4月より中期経営計画「FELIZ 115」をスタートさせました。一人一人が人生100年時代を笑って過ごせる社会を目指すライフサイエンス事業を拡充します。

「養蚕イノベーション®」活動を通じた、当社の掲げるSDGsの目標は3つです。「3.すべての人に健康と福祉を」、「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」。

国内外に発信する連携の第一歩を踏み出しました。

<図:「養蚕イノベーション®」と期待される効果>

活動内容		期待される効果
カイコの餌となる桑の木を育成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の雇用（所得）創出 ・耕作放棄地の有効利用 ・シニア世代の生きがい ・認知症予防、フレイル予防→医療費削減 ・地域コミュニティの活性化 ・CO₂削減効果
カイコを育成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の雇用（所得）創出 ・日本古来の養蚕技術伝承 ・養蚕業の復活 ・シニア世代の生きがい ・認知症予防、フレイル予防→医療費削減
マユは、各用途に応じ活用する。	シルク	<ul style="list-style-type: none"> ・絹製品へ活用 ・医薬、食品、化粧品などの先端分野への応用
	サナギ	・第一工業製薬が製造販売する「カイコ冬虫夏草」の原料へ活用

*「養蚕イノベーション®」、「ナトリード®」は、バイオコクーン研究所の登録商標です。



3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



17. パートナリシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

・本件についてのお問い合わせ

第一工業製薬株式会社 広報IR室

TEL.075-323-5951